

乳牛奴隸  
緊縛調教



「あぁ……き、今日は……何をされるのてすか……?」

「ふふ……今日はね、  
ミルクドールちゃんが見られるだけで、  
想像だけでイける  
ようにするための  
訓練をするよ。」

「……この観客からの視線ばかり視姦してもらった」



そんな……と主人様はそう言ってるけど……  
こんなにくささんの……魔物が……  
私を見て……アソコを  
あんなに大きくして……

最後には……きつと  
皆に輪姦されて  
しまっんでしょ……？

ひっ……獲物を狙うような  
視線が……全身に絡みついて……  
それに……身じろぎするだけで縄が……食い込んで……  
やあ……あ……見られてるだけなのに……  
秘所から……お汗があ……う  
おかしく……なっちゃいそう……う



「うん？どうしたのかな？腰がひくひく動いて…  
本気汁で水たまりができてきちゃってるよあ？」

「はあ…あ…

もう…見ないで…

ください…う…

違う…違うの…私…

わたし…こんな…う…

ひあん…」

「見られて興奮して、犯されるところを想像して  
自分で縛てこすって甘イキしちやうてるくせだ。ひやらしいなあ」











